

(別紙 1)

[ 認知症対応型共同生活介護用 ]

### 1. 評価結果概要表

作成日 平成 年 月 日

#### 【評価実施概要】

事業所番号	大阪府指定 第2770106918		
法人名	医療法人 錦秀会		
事業所名	グループホーム清泉		
所在地	大阪府堺市南区豊田1748番地2 (電話) 072-297-9411		
評価機関名	特定非営利活動法人 カロア		
所在地	大阪市天王寺区堀越町1-1		
訪問調査日	平成20年8月27日	評価確定日	

#### 【情報提供票より】(20年8月12日事業所記入)

##### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 11月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤15人, 非常勤 1人, 常勤換算16人	

##### (2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り
	1 階建ての ~ 1 階部分

##### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(150,000円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,400 円	

##### (4) 利用者の概要(8月12日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	1	要介護2	7		
要介護3	7	要介護4	2		
要介護5		要支援2			
年齢	平均 77.5 歳	最低 67 歳	最高 92 歳		

##### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 錦秀会 阪和第一泉北病院・阪和第二泉北病院
---------	----------------------------

#### 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

法人は医療法人であり、病院と連携をとり体制を整えておられます。  
 食事の準備や買い物等を一緒にし、中庭には家庭菜園や季節の花を育てられる等、環境作りに配慮されています。施設内もとてもゆとりがあり、共有部分はリビング以外にパブリックスペースがあり、その人らしく過ごせられるよう、支援されています。  
 職員は、法人内だけでなく外部研修にも積極的に参加されており、より良いサービスの提供に取り組まれています。

#### 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	自己評価と外部評価の意義を理解し、全職員で取り組まれています。また、自己評価は運営推進会議で説明され、外部評価の結果報告も予定されており、前向きに取り組まれています。全職員で取り組む事で、日々の業務に対して再確認も出来た様です。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
重点項目	5、2ヶ月に1度行われており、今年度より家族の代表は決めずに家族全員に案内をだし、多くの家族が出席され、活発な意見交換が行われている様です。その話し合いより、家族会の発足も検討されています。
	6、市町村とは、事例困難ケースをきっかけに少しずつ関係を気づいておられ、積極的な関係作りは今後の課題と考えられています。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	7、年4回発行される新聞で行事の報告や、お知らせをされています。家族の面会時にも直接報告もされています。金銭に関しては毎月月末に郵送で報告されています。 8、特に苦情箱等の設置はされていませんが、面会時や運営推進会議で意見が言いやすい環境作りに努めておられます。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	地域の行事に参加されたり、ボランティア活動で関わりを持たれていますが、もう一歩地域との関わりを積極的に行うことを課題と感じておられます。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「認知症になっても、地域の中でその人らしく、ゆったりと穏やかに暮らせるよう、その人の生きる力を支援し、いきいきとした生活を築く。」という事業所独自の理念が各ユニットに掲示されています。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	法人全体及び事業所の理念を事務所に掲示し、その上理念が書き込まれた事業計画書を各職員に配布し理念の共有を行っています。又毎月、理念に基づいた目標を立て、具体的に対策を立て、その評価も行われています。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の方に、ヨガ・習字・お点前のクラブ活動、ヘアカット、ホーム内の草引き等のボランティア活動で関わって頂き、又、ホームからも地域の盆踊り等の行事にも参加している。又、4月から自治会長が代わったということで挨拶にも行くなど、地域と交流する努力をされています。		ボランティアの受け入れ、地域の行事への参加が行われ、地域とのかかわりがもたれていますが、もう一歩、地域との関わりを深めていく為に事業所主催で介護についての勉強会や相談会を開催し地域との交流が深められることを期待します。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価、外部評価についての意義や目的を職員に話をし、自己評価については全職員にプリントを配布し取り組みされています。そうすることで、日々の業務の再確認ができ、サービスの向上に生かされています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1度開催の会議では自治会長、民生委員、地域包括の方、家族、利用者と多数の方が参加され、自己評価の内容説明・外部評価の結果報告が行われ、又、家族からは個別では言えない事が言える場としてさまざまな意見が出、双方向的な場となるよう配慮されています。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事例困難ケースについて相談したことをきっかけに市町村との連携が取れ、何かあれば相談され、今後積極的な関わりを持てるよう取り組まれています。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>年4回発行される新聞では行事の報告、新職員の紹介やお知らせ等の内容が伝えら、利用者の健康状態については血液検査の結果報告を郵送したり、面会時に直接声をかけ口頭でも伝えるようにされています。金銭に関しては、月に一回郵送で報告されています。また、施設内では行事等の写真を掲示されており、活動内容が分かりやすいようになっています。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>全家族に運営推進会議の案内を出し、参加を求め、直接意見を言いやすい環境作りがされています。そこで出た意見を運営に反映されています。また、多数の家族の参加も会議録で確認できます。</p>		<p>自己評価では家族会の発足を検討しているとのことで、家族会を発足しより意見や苦情を言いやすい環境作りができることを期待します。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者への影響が出る職員の異動は必要最小限にされています。又、職員が働きやすい職場にする為、管理者は職員の話に耳を傾け、改善をする事で離職を最小限に抑え、利用者へのダメージを防ぐ配慮がされています。また、新職員が入ってき時は日勤中心で勤務を組むなど負担の軽減にも取り組んでおられます。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員を育成する為の研修計画があり、全職員に外部研修・内部研修を受ける機会を確保するように努めておられます。受けた研修について事業所に持ち帰りレポートを提出、伝達研修も行われている様子です。経営母体の病院から医師が講師として派遣され、勉強会等も行われています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	堺市南区内の事業所連絡会が2ヶ月に1回開催され、各事業所が持ち回りでホームをまわり、情報交換や事例検討会・勉強会が行われています。また、堺市全体の連絡会も年2回開催され参加され、普段から連携がとれ、サービスの質を向上させていく取り組みが窺えます。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に納得してサービス利用していただけるようホーム全体的な見学を必ず本人にしてもらうようにされており、家族と一緒に何度も訪問する事も可能です。部屋が空いていれば体験利用も受け入れており、利用前には自宅にも訪問し本人との関係づくりに取り組まれています。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員と入居者が一緒に生活している者として、食事の用意や洗濯、掃除などを協力しながら行なわれています。また、カラオケ等のレクリエーションでは共に笑い楽しんでおられます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>普段から一人一人の声に耳を傾け、それぞれの思いや意向の把握に努めておられます。聞き取りが困難な方に対しては個人ケースも参考にしながら、本人にとって良い方法を家族と一緒に考え取り組むように努めています。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>普段から利用者、家族、現場の職員からの声を聞き、意見として計画に反映されています。また、計画作成担当者が3名おり、その中で勉強会を開くなど計画作成の技術の向上に努めておられます。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>モニタリングを行い、入退院時等の本人の状態の変化があった時にはサービス担当者会議を開催し、本人・家族の意向に沿えるよう見直しが検討されている様子が窺えます。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>随時の通院介助や、散歩・買い物等の外出支援を出来る範囲で対応されています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居前に希望するかかりつけ医の把握をし、往診の受け入れや通院介助の支援を行っています。また、かかりつけ医との連絡を密にすると共に、法人母体の病院より看護師が定期訪問することで、病状の悪化の予防に努めておられます。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居前より、事業所での重度化・終末期に向けての対応の方針が説明されています。また、入居後も本人の状態悪化にともない、その都度、医師・家族を含めカンファレンスを行い対応についての話がされています。職員間でも、担当者会議等の場で方針の統一をされています。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報保護についての研修や、接遇についての研修が行われ、プライバシーの確保の徹底が行われています。また、言葉がけにも注意を払っておられ、グループワークで話し合いをされています。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者からの声を聞き、散歩・買い物・喫茶への外出等柔軟な対応が出来る。また、生活の中で本人の出来ることは積極的にしてもい、出来ないところは職員と一緒にやって行なうなどの対応がされています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の買い物、食事の準備・後片付けと利用者と職員が一緒になって行い、食事も楽しい雰囲気を取れるようになっています。献立は職員が考えますが、利用者からの日頃の意見も反映され、また季節感が味わえるような工夫もされています。各利用者の誕生日のときはその人が食べたい物を用意するという楽しみもあります。また、時には外食の行事もあり食事を楽しむことのできる支援がされています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	夜の入浴は人員上難しいと感じておられますが、日中は基本的に入浴は2日に1回とされ、夏場の暑いときには毎日シャワーをしたり、本人の状態や希望に沿った入浴が対応がされています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居前に本人の生活歴を聞き、それを生かした支援が出来るよう努めています。洗濯、庭の水やり、掃除、食事の用意など本人で出来ることはして頂き、生活の中で役割や楽しみが出来るような支援がされています。		
25	61	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物で外出する機会を設けられています。また、本人からの希望にもその日に外出が出来なくても、後日職員の体制を整え外出出来るように臨機応変に対応されています。一人で出掛けようとする入居者に対しては、さりげなく付き添うようにされています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や玄関に鍵はかかっておらず、以前は一番外の門だけ鍵をかけていた様ですが、家族の理解を得て、開放されています。その為、敷地内を自由に出入りできるようになっています。その分職員は緊張感をもって見守りを行い、出かけようとする利用者については様子を見て一緒に外出する等その都度対応されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回の消防署立会いの消防訓練、2ヶ月に1回の誘導・通報の自主訓練連が行われています。次回の消防署立会いの消防訓練には自治会長も参加する計画をされています。スプリンクラーの設置も検討されています。また、法人内で災害時用の水や食料の備蓄もされています。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>献立は母体病院の栄養士に相談し、栄養のバランスを考え、本人の状態に応じた食事形態を用意できます。また、毎日の食事・水分の量をチェック表に記入されており、一人ひとりの状態の把握に努めています。入居者がいつでも水分補給が出来るようにセッティングされています。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間にはソファやテレビが置かれ、ゆっくりと過せる雰囲気があります。。また、他の利用者と少し距離を置いて過せるようミニ・パブリックスペースも確保されており、中庭にも自由に出入りでき、各利用者が思い思いに過せるような空間が用意されています。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各居室にはクーラーと洗面だけがあり、入居後、利用者が居心地よく過せるよう自宅で使用した馴染みの物やその他の家具などを自由に持ち込めるようになっています。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。